

# 兵道けんじニュース

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

発行者 公明党甲府市議会議員

兵道 顕司

甲府市中村町 15-6

TEL/FAX055-237-9529

2024.10

VOL. 35

この夏コロナ罹患をきっかけに肺炎が悪化し、結局胸膜炎と診断され、盆の入りからちょうど3週間、市立甲府病院に入院し、治療を受けました。

9月定例会を控えて少し焦ったところですがコロナ療養中に代表質問の草稿案を作っておいたのが功を奏して何とか9月4日の開会日に間に合い、9月9日の代表質問も無事終了できました。

多くの皆様からお見舞いとご心配をいただきこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。



前任期の9月定例会。ちょうど5年前になります。が、中核市に移行し、保健所を設置した甲府市が「健康都市宣言」を議会に提案しました。

全会一致で可決成立するものと誰もが思いました。しかしいつもの会派が「自分の健康は自分で守る」という言葉尻をとらえて、行政の責任放棄、と言い出し、結局最後は私が圧倒的な賛成「演説」をして、反対論を木っ端みじんに粉砕し無事に健康都市宣言が成立しました。

3週間の入院生活の中で、改めて宣言の「自分の健康は自分で守る」という重みをひしひしと感じました。とともに市立甲府病院のドクターをはじめとするスタッフの「どこまでも患者に寄り添って」というホスピタリティ溢れるケアを間近で見て、非常に心強いものを感じました。

毎年の決算特別委員会で、見かけの赤字の数字に翻弄されてすぐに病院が倒産してしまう、もっと経営努力を、などという言葉が投げつけられているのを見ると、「はて」といいたくなります。

また、甲府市民より他自治体の住民の利用が多いなどという議論に出くわすと、もはや絶望感に襲われます。山梨県が設定している医療圏のなかでの役割も理解しないまま、批判するのはどうかと思います。ましてや、経営形態の議論はとうの昔に終結しており、あとは企業会計上の諸課題や様々数字の改善を見ていくことが安定的病院経営につながると確信します。病院をなじるばかりではなく誰もが納得する解決策を提案するのも議員の大事な役割です。

これまでの本会議での質問動画 → [甲府市議会インターネット中継](https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

([https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker\\_result&speaker\\_id=58](https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58))

## < 9月定例会代表質問の概要 >

### 带状疱疹ワクチンの公費助成の取組みについて

問) 2年前にわが会派が取り上げたときに、「国の定期接種化を要望している」との答弁がありました。今年の6月に厚労省の委員会で定期接種化差し支えなし、との報道がありいよいよ定期接種化が実現しますが、本市の対応をお聞きます。

答) 定期接種に位置づけられた場合の本市の費用助成や接種体制等について、持続可能性などの様々な観点から検討するよう指示しました。また市民が安心して接種を受けられる体制を整備し、円滑な事業の開始につなげていきます。

### 街路灯のLED電球の一斉更新について

問) わが会派の提案によって自治会所有の約2万灯の街路灯のLED化が実現したが、その更新時期がそろそろ到来しますが、更新の考えについて伺います。

答) 最近の物価の高騰などの状況変化を見据えた助成内容や更新の方法などについて、自治会が円滑に更新作業を進められるよう取り組んでまいります。

### 殺処分ゼロに向けた本市の動物愛護のあり方について

問) 中核市移行をきっかけに何度も本会議で取り上げ、現在譲渡会を行うまでに取組みが進んできましたが、今後の課題として、次の2点についてお聞きます。

①譲渡会もにらんだ保護スペースの整備とボランティアへの支援の拡充について

②殺処分ゼロの宣言について

答) まずは、ボランティアの負担軽減が重要なので簡易な診察やワクチン接種等を保健所の獣医師が行うこととしました。また、子どもたちへの取組みとして、子ども応援フェスタにあわせて動物愛護デーを開催するほか、10月から譲渡会をにらんで新たなクラウドファンディングも実施します。

### 住宅断熱窓の導入の促進について

問) 住宅の断熱化が温暖化防止に効果があることは知られていますが、住宅全体のリフォームには2の足を踏みます。こうした中注目されているのが、窓の断熱ですが、市として導入の促進を図るべきと考えます。

答) 昨年国で補助事業が開始しているので、まずは制度の活用を促すための周知を行っています。

今後とも制度の周知と合わせて、他都市の先進事例の検証を行っていきます。